

所属・氏名（ 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 氏名：國貞将志 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (報告・発表) Study on Use of Time of Occupations in the Day for Mentally Disabled living in Community 地域で暮らす精神障害者の1日における作業の時間利用に関する考察	協同 國貞将志 山路博文 三宅優紀	2014年6月20日	第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会(WFOT Congress 2014) (神奈川県)	地域で暮らす精神障害者の1日の作業の時間利用の調査から生活状況の特徴を見出した。その結果、対象者の生活状況の特徴として、レジャーに関する作業は主に在宅で行われていると考えられた。これは精神障害者が積極的に友人を誘い遊びに行くことが苦手なことや、大勢の人がいる場所ではリラックスできないことなどが原因と考える。
2 (報告・発表) 大学生の作業機能障害の実態調査～作業療法学専攻学生対象に	共同 國貞将志、 叢麗	2015年10月3日	第20回日本作業療法教育学会 (奈良県)	対象は広島国際大学作業療法学専攻(以下本学OT専攻)に所属する1年生50名とし、入学後約1ヶ月経過した時点で「作業機能障害の種類と評価(CAOD)に自己記入を求めた。本研究の結果、本学OT専攻1年生の30%が作業機能障害に陥っていた。
3 (報告・発表) 学生を対象とした環境とコミュニケーション・スキルとの関係についての仮説検証的研究	共同 本田華奈子、 國貞将志	2017年6月19日	第26回日本作業行動学会学術集会 (神奈川県)	本研究は、広島国際大学の学生30人対象に、環境とコミュニケーション・スキルとの関係を明らかにするために調査を行った。その結果、環境に対する作業有能性および作業同一性が高い人は、コミュニケーション・スキルも高い可能性があることが示唆された。
4 (報告・発表) クラシック音楽が巧緻動作に与える影響について	共同 齊藤亮、 國貞将志	2017年9月23日	第51回日本作業療法学会(東京都)	本研究は、広島国際大学に在籍している学生20名を対象にクラシック音楽の聴取が運動機能、特に巧緻動作に与える影響について検証した。本研究の結果、モーツァルトの楽曲の聴取下では、LF/HF値の低下がみられたことで交感神経が抑制されリラックス効果が得られること、否定的感情の低下がみられることが示唆された。
5 (報告・発表) 役割の量と生活満足度との関係について～健常大学生を対象に～	単独 國貞将志	2018年9月8日	第52回日本作業療法学会(愛知県)	広島国際大学に在学中の学生24名を対象に役割の量と生活満足度との関係について調査を行った。その結果、現在の役割の量と生活満足度に正の相関が認められた。このことから現在多く役割を行っている人は生活満足度が高いことが示唆された。
(報告・発表) グリットに影響を与える作業機能障害の種類について	共同 國貞将志、 砂谷真輝 伊藤晴美 石田梨紗	2021年9月13日	第55回日本作業療法学会(オンライン)	本研究は本学作業療法学専攻30名を対象とし、作業機能障害とグリット(個人にとって重要な目標を達成するための作業に従事し続ける力)との関係について調査した。その結果、作業不均衡に陥るとグリットが低下する傾向にあることが分かった。

令和4年5月31日 現在